

平成30年度 第1回八幡地域協議会 会議要録

日 時：平成30年5月22日(火) 19時27分～21時23分

場 所：郡上市役所4階 大会議室

出席者：（八幡地域協議会委員）

鷺見典恭、先山祥一、石山加代子、兼山勝治、水野良一、尾田孝夫、山下優子、
和田 肇、加藤徳光、鷺見耕平、益田孝之、本田教治、山田篤司、石田 克、
池戸郁夫、羽田野哲夫、武藤里恵、日置次郎

（オブザーバー）

渡辺友三、上田謙市、山田忠平、田代はつ江

（事務局）

臼田義孝総務部次長兼八幡振興統括、大野弘勝政策推進課長、武藤地方創生推進係長
安藤祐二商工課主査

欠席者：（八幡地域協議会委員）

河合 研、細川竜弥

（オブザーバー）

武藤忠樹

（開始 19時27分）

進行：大野課長

1. 委員委嘱：臼田次長兼八幡振興統括

出席委員18名に委嘱書交付（河合委員へは後日渡し、細川委員へは代理出席
の安田大介氏に預ける）

2. あいさつ

事務局

本年度早々に西乙原地区の崩落事故により一部の地区が分断されるということがあった。早期の復旧に向けて現場調整がされている。昨年度は八幡町内で施設建設の大きな事業があった。今年度は八幡地域において西和良地区と川合東部地区に地域おこし応援隊として新しく2名が入るので活躍を期待している。郡上市では昨年度より観光立市を進めており、引き続き下呂市から郡上市へのバスの運行を行う。高速バスの利用については駐車スペースが狭いと要望もあることから、上り路線側に駐車場の整備などを考えている。その他にも八幡町には課題が山積しているが、皆様の力を借りながら前進し

ていきたい。

3. 自己紹介

地域協議会委員、オブザーバー（八幡地域出身議員）、事務局職員

4. 会長、副会長の選出について

事務局：郡上市地域協議会設置規則において、「会長、副会長は委員の互選により定める」となっている。選考方法について、ご提案はあるか。

協議会：事務局案はないのか。

事務局：事務局案との意見があったので、事務局案を発表する。よろしいか。

協議会：了解。

事務局：会長を尾田孝夫委員、副会長に加藤徳光委員、本田教治委員をお願いしたい。よろしいか。

協議会：（拍手）

事務局：拍手があったので決定させていただく。尾田委員においては、会長席への移動をお願いする。

会長あいさつ

前回から引き続きであるが、みなさんの意見を汲みながら会を進めていきたい。昨年度からいただいている交付金により、各地域の課題を解決する取り組みができたと思う。大きな課題としては、少子高齢化ということがある。地域の課題を解決しながら、人口減少していく割合を少しでも少なくしようと、持続可能な地域づくり活動を実践したところだと思う。今後もよろしく願います。

監事の選出について

事務局：会長から監事2名の選出をお願いしたい。

会長：地域協議会に対する交付金があった。適正に活用されたかを監査する必要がある。どなたか立候補等はないか。

協議会：会長指名でどうか。

会長：鷺見典恭委員、日置次郎委員をお願いしたい。

（鷺見典恭委員、日置次郎委員 了承）

事務局：これからの議事については、会長で進めていただきたい。

5. 報告事項

1) 平成30年度八幡地域の主要事業について

（事務局より、市の事業から抜粋した資料に基づき報告）

会長：住民からの要望や地域の課題を踏まえて予算配分されていると思うが、報告いただいた件について何か質問等はあるか。

委員①：旧越前屋の改修事業について、改修内容、利用方法についても方向は決まっているのか。それとも雨漏りの改修というものなのか。

事務局：大まかな改修項目は決めているが、まだ具体的ではない。今年度の実施設計に合わせて決定されるかと思う。今後どのように利用していくのかということについて議会へもある程度お示ししている。

事務局：八幡市街地には町家の中を見てもらう施設がないので、内部を見てもらえる施設とするといった目的もある。また、市街地の一等地でもあるので、今後の地域づくりの拠点となるような施設として、運営者もどういうところが相応しいのかという検討も始めている。

委員①：市街地まちづくり会議として、どのように関わっていけるのかということで質問させてもらった。

会長：行政と市街地のまちづくり団体と双方において、旧越前屋がまちづくりの拠点となっていくのであろうという思いがあるのだと思う。そのあたりの連携が良い方向で取られていけば、より地域の課題解決につながるのだろうと思う。

委員②：市道神谷棚井線の橋梁改良事業について、いつ頃から工事に掛かるのか。周辺の水田にも影響する。

事務局：用地交渉も同時に進めているはずであり、耕作時期についても配慮されるかと思う。

2) 平成 29 年度八幡地域協議会の実績報告及び決算報告について

(事務局より、実績報告に基づき全体を説明。詳細については各団体より説明。)

平成 29 年度各地区協議会事業実績

事業名	内容	事業費(円)
【八幡全体】 先進地視察研修	飯田市視察 龍江地域づくり委員会視察	133,700
【八幡全体】 交付金管理	振込手数料	756
【八幡市街地】 八幡市街地地域住民意向調査	八幡市街地の課題解決に対する住民アンケート調査 市街地街づくり会議委員へのインタビュー調査	290,000
【八幡市街地】 まちづくり活動関連情報共有事業	街づくり会議の存在や活動、八幡の今後の在り方等の調査結果を冊子にし全戸配布	310,000
【川合東部】 川合東部活力創出事業	グリーンツーリズム 小駄良師走市	200,000
【相生】 相生PR動画作成・上映事業ほか	加子母村視察 相生PR動画制作 映画上映 ドラム缶風呂体験	300,000

【口明方】 口明方農業フェスティバル	地域づくりの機運を高めるため、平成 23 年（第 20 回）まで開催されていたフェスティバルの復活	200,000
【西和良】 西和良地域活性化づくり	ジビエ肉と地場野菜の販売	200,000
【小那比】 自然と暮らしを活かした地域づくり	茶摘み体験 川遊び体験 先進地視察	150,307
繰越金		105,001
合 計		1,889,764

事務局：交付申請に伴い市から 210 万円が交付された。210 万円を八幡全体に 41 万円、市街地まちづくり会議へ 60 万円、川合東部地域づくり協議会へ 20 万円、相生地域づくり協議会へ 30 万円、口明方地域づくり協議会へ 20 万円、西和良地域づくり協議会へ 20 万円、小那比夢ビジョン策定委員会へ 19 万円を割振り、活動交付金としての精算は 178 万 4,763 円、繰越は交付額の 5%以内と決められていることから 10 万 5,000 円、利息が 1 円あったので、決算額は 188 万 9,764 円となる。差の 21 万 237 円については市へ戻し入れた。

事務局：八幡地域協議会本体の活動として、委員と事務局 15 名により長野県飯田市及び龍江地域づくり委員会へ住民自治先進地視察を行った。

会長：その他、活動交付金は活用していないが、郡上おどりに合わせて男性、女性 40 名ずつの定員による婚活イベントをホテル積翠園を会場に行った。イベント経費については婚活の補助金を活用している。

委員①：市街地街づくり会議では、お手元にも「まちのコンパス」という冊子を配付したが、全戸を対象に課題解決に対する住民アンケート調査や街づくり会議委員へのインタビュー調査を行って結果をまとめた。全体では 3 年計画としているが、これを基に今後どうしていくのかということを模索していく。

委員③：川合東部地域づくり協議会では、公民館事業とコラボレーションしながらグリーンツーリズムとして、農産物や竹細工を活用し流しそうめん等をした。土里夢の駐車場を利用し、小駄良師走市を行った。この他にもエゴマやフキ、朴葉を活用した事業を行った。

委員④：相生地域づくり協議会では、軽トラ朝市を行いたいとの意見から加子母村視察を行った。移住者促進を期待し、相生 PR 動画を制作した。お寺を活用した映画上映会を行った。年度末には相生中学校跡地において、ドラム缶風呂体験として地域交流会を行った。

委員⑩：口明方地域づくり協議会においては、平成 23 年以来となる口明方農業フェスティバルを復活させた。お盆に開催したことで、地域の方だけでなく里帰りしている方、また、イベント会場をキャンプ場としたことによりキャンプの客な

ど多くの参加者があった。

委員⑤：西和良まちづくり協議会では、朝市を行っていたが、その集大成として農業感謝祭を行った。ジビエの加工場もあるので試食も兼ねた。

委員⑥：小那比夢ビジョン策定実行委員会ではお茶摘み体験を行った。大学生やリピーターも多く、賑わった。こんにやくと朴葉寿司も出している。その他、川遊び体験、先進地視察を行った。

会長：その他の団体についても交付金を活用していない活動もあったかと思うので報告いただきたい。

委員⑦：川合西部地区では特段の活動を行えなかった。今後、みなさんの活動を参考に考えていきたい。

委員⑧：那比地域協議会は発足し3年ほど経ったが、活動については今後いろいろと考えていきたい。

委員⑨：小野地区についても公民館活動は行われているが、それ以外はできていない。

会長：各地域とも地域の特性や課題を踏まえながら事業を実施いただき、成果も上げられているのではないかと思う。

(監査報告)

会長：以前までは監事を定めていなかったもので、会長職として5月15日に帳簿書類一切を監査したところ、全て適正に処理してあったことを認めたので報告させていただく。よろしいか。

協議会：了解。

6. 協議事項

1) 平成30年度八幡地域協議会の取組み(予定)について

平成30年度各地区協議会事業計画案

地区名	事業内容	要望額(千円)
八幡地域協議会本体	先進地視察研修 活動事例発表会 交付金管理	340
八幡市街地まちづくり会議	八幡市街地まちづくり計画策定業務 八幡市街地まちづくり体制整備計画策定業務 八幡市街地まちづくり拠点整備計画策定業務 八幡市街地まちづくり情報住民共有業務	675
川合東部地域づくり協議会	川合東部活力創出事業(グリーンツーリズム) 誇れる環境づくり事業 川合東部活力創出事業(もち花付体験) 川合東部活力創出事業(小駄良師走市・もち花市)	200
相生地域づくり協議会	荷車楽市楽座 アイオイシネマデラックス アイオイパーティー	500

西和良まちづくり協議会	小学校の再活用提案事業	300
小那比夢ビジョン策定実行委員会	川遊び交流 茶摘み体験 先進地視察 ふるさと交流	190
合 計		2,205

- 会 長：地域協議会本体としては先進地視察を考えている。また、年度途中で各地域団体の活動事例報告会を行いたいとも考えている。婚活について現在は考えていないが、やりたいとの声も聞いている。しかし、役員の方も本日が初めて計画を聞くこととなり、また、前年行ったおどり前婚活については時期的に段取りが難しいことから保留としている。ご意見を聞きながら検討したい。
- 委 員①：市街地では、平成 29 年度に作成の「まちのコンパス」の結果からいろいろな地域課題が見えてきた。課題に沿って具体的な活動計画を策定したい。また活動の体制整備と活動の拠点整備の計画を立てていきたい。委員や団体の代表、地域のみなさんを対象に 4 回程度のワークショップを行いたい。「まちのコンパス vol. 2」として小冊子の全戸配布をしたい。
- 委 員③：川合東部では、グリーンツーリズムに加え、川合小学校 3 年生を対象に授業も行っているが、それを小駄良師走市でもち花付け体験を行いたい。南天の生産も盛んなので、南天玉の生産も行いたい。
- 委 員④：相生では新規事業として荷車楽市楽座を行いたい。軽トラ朝市は全国どこでもあるので、相生らしさを出したい。アイオイシネマデラックスとして映画を上映したい。地域交流を深めるイベントとしてアイオイパーティーを行いたい。この他、移住者への問い合わせ準備として空き家リストの作成もしたい。相生地域づくり新聞の発行も考えている。
- 委 員⑤：西和良では西和良小学校が今年度いっぱい閉校するので、閉校イベントに参加するなかで今後の再活用提案をしたい。
- 委 員⑥：小那比では例年どおり茶摘み体験と、また、道路を整備して川遊び交流会を予定している。先進地視察の視察先についてはこれから整理したいと思う。
- 会 長：現在交付金の申請が出ている団体の活動計画を説明いただいた。活動交付金の活用以外でも活動を考えている団体があったら、発表いただきたい。また、各方面の専門的な団体からも代表として参加いただいているので、意見等もいただきたい。
- 委 員③：先日、テレビで近藤正臣が天然の藤の花がとても綺麗であるとの話をしていた。こういった現状は、逆に言うと地域の環境が非常に荒れているということだと思う。本当の姿ではないと思う。小駄良川浴いも藪がひどくアユ釣りができない。藤の花も木にひどく巻き付いている。良い案があれば聞きたい。
- 委 員⑩：川合東部などは特にだが、地域協議会と公民館が一体となった参考となる活動をしている。例えば中高生が多くの公民館活動において活躍されているが、地域への関心、地域の良さを中高生に感じとってもらえるような発信をできな

いかと考えている。

- 委員⑫：商工会は商工業者と経済、6次産業の発展を願うばかりであるが、地域協議会に対する活動交付金が出ているうちにお金を循環していく仕組みが定着し、交付金が無くなっても継続できるようになることを願っている。どの地域の活動も良い事例だと思う。
- 委員⑬：観光協会として、地域活動を多方面に広報したいという所があれば、観光協会のホームページ等で広報することなど連携できる部分もあるかと思う。
- 委員⑭：シニアクラブとしては、自分たちの地域は自分たちで守ろうということで活動を進めている。
- 委員⑮：女性の会としては「お母ちゃんの底力」をもっと発揮していただけるよう女性の方にも声掛けをしていただきたいと思う。
- 委員⑯：今年からは八幡市街地北部の自治会長も兼ねている。観光に関連することかも知れないが、町名の由来の分かるものができるといいなと思っている。
- 委員⑰：相生地域づくり協議会のメンバーでもあるので、その立場で話をする。相生ではどのイベントも次につながるような良い結果が出たと思っている。次のステップに向けて今年は計画している。荷車楽市楽座に力を入れるので、みなさんにも参加をお願いしたい。
- 委員⑱：商工会にお願いし郡上八幡楽市楽座を行っているが、参加者も減り規模が縮小している。お互いに連携と応援をお願いします。
- 会長：予算配分はしているが前年度も実績では交付金が若干余っている。これ以外にもやりたいことがあるようであれば、現在計画のない団体からも活動交付金の申請の検討をお願いします。多くの申請があれば他団体とも調整する。

2) 八幡町内のイベント運営について

- 事務局：協議というよりは本日は現状を知っていただき、今後どうしていくかということを考えていただけるよう議題として挙げた。これまで行っている「春まつり」、「城下町花火大会」、「変装おどり」が今後できるかどうかという所に来ている。これらの運営について、一手に背負っていた方が体調を崩され、また、一人で行っていたことからノウハウが承継されていない。このままではこういったイベントが無くなってしまうかも知れない。地域協議会の声を聞いて参考としたい。
- 事務局：平成20年までは八幡町商工会が事務局となり運営していたが、本来の業務ではないとのことで手を引かれた。議論の中ではこれらイベントについて無くすという案もあったと聞いている。そこで山下さんが一個人として事務局を引き受けてくれ、ここまで10年続いてきたということである。運営母体としては、自治会、商工会八幡支部、郡上八幡観光協会のみなさんも実行委員会として携わっている。山下さんも高齢となり体調も崩されている。担い手確保のこともあるが、これまでほぼ一人でやられていたことからノウハウが承継されていない。今後については、可能な限り組織的にやれるよう議論いただきたい。皆さまの地域でも、これは必要であると考えた方たちが自ら作り上げて活動してい

ることは素晴らしいことだと思う。続けていけなくなることは残念なことであり、今後も安定的にイベントが続けていけるよう多くの方に考えて欲しいとのことで報告させていただいた。

委員①：市街地まちづくり会議の中でもこの話題は出ている。ふるさとまつりも含めて実行委員会形式を採っているが、体制整備や活動計画等を考えていかないといけないという意見は出ている。

会長：せっかく根付いているイベントでもある。時間もないのでここで議論もできないが、もしもこんなアイデアがあるという方が居れば知らせてほしいかと思う。市街地まちづくり会議を中心になるかと思うが、提案もいただきたい。

3) ふれあい懇談会について

事務局：これまでの懇談会については郡上市で統一されたテーマが設定されていた。

(平成 29 年度：「観光立市郡上について」、平成 28 年度：「公共施設の適正管理について」、平成 27 年度：「地方創生(人口減少問題への取組等)について」) 本年度は各地域で課題となっているテーマとすることとされた。このことについて持ち帰っていただき、各地区協議会の中で、これは八幡地域で共通の課題であるというテーマなので取り上げてほしいというものがあれば提案いただきたいと思う。今日結論を出すものではないが、出された案から調整したいと思う。

会長：現時点で思い付くものがあれば提案いただきたい。

委員⑫：漠然としたものであるが、自分たちが議論する会なので、参加する人が自分で考えられるよう「市民で考えるまちづくり」というものはどうか。

会長：問題提起ではなく話が進んでいくようなテーマにしたいという意見だと思う。今日は時間もないので、結論を保留とし、持ち帰って検討いただき提案されたい。今後につながるようなふれあい懇談会にしていきたい。

7. その他

1) 小さな拠点とネットワーク形成について

事務局：市では「公共施設の適正配置計画」ということで、多くの公共施設を今後どうしていくかというワークショップが夏より始まる。その前段として「小さな拠点」として、概ね小学校区を想定しているが、人口が減少する中どうしたら今後持続可能な暮らしができるのかということを考えていくものがある。地域によっては道の駅が拠点となる場所、公民館が拠点となるという所もあるかと思う。公共施設のないところでは公共交通機関を利用し病院へ通うという事もあるかと思う。この地域にこの公共施設と公共交通機関があれば、20年後も暮らしていけるのではないかというような、気づきを論ずる活動を始めたいと思っている。地域協議会へも青写真を持ち込ませていただき、ご意見を受けたいと思う。

会長：まさに八幡で考えている地域協議会はこのようなものだと思う。各小学校区、公民館区域で地域協議会団体が立ち上がり、より地域が長く持続していくこと

を考えている。その拠点について協議してもらえばよいかと思う。今後、行政とも連携を取りながら発展していく地域づくりができればよいかと思う。

2) 住民自治基本条例について

事務局：平成26年4月に住民自治基本条例が施行され現在まで推進されている。地域協議会においても住民自治基本条例でこのような会を設置することが謳われ、設置されている。理念条例であり市民一般にも浸透させたいとのことで、今回新しくチラシを作成した。持ち帰ってご覧いただきたい。

8. オブザーバー講評

オブザーバー①：それぞれの話を聞いていると活動が活発だという印象を持った。八幡地域は地域協議会だけではなく、公民館活動も認知されている。行政からもふれあい懇談会や小さな拠点について課題が出されたが、議会も一緒になって地域づくりに努めていきたいと思う。

オブザーバー②：地域協議会では、当初、どういうことを八幡町共通の課題として取り組むのかについて苦労されたと思うが、持続可能な地域にするために人口減少の抑制策を共通課題として取り組まれている。冊子「まちのコンパス」は八幡市街地の街づくりを今後どのように進めたらよいのかということが凝縮されている。ぜひ、一読いただきたい。

オブザーバー③：郡上市の中で公民館活動が盛んなのは八幡町である。行政視察で見てきた中で、成功している先進地では公民館組織も無くし、協議会が多くの予算をもらって全てのことをやっている。郡上市はまだ他の組織との重複部分がある。今後、模索しながら協議会のあり方を進めることもあるかと思う。八幡地域については市街地とは形態に差があると思うが、それぞれの支部に合ったことをやっていくことが大事ではある。また、各地区だけでなく八幡地域協議会本体でも地域に大事なことはやっていかないといけないかと思う。

オブザーバー④：平成29年度事業実績、平成30年度事業計画と聞かせていただいたが、「体験」という言葉が多く出てきた。先日、フランスのオ＝ラン県から議長達が八幡町に来訪されたが、サンプル作りや郡上おどりなどの体験をされていた。体験は魅力のあることである。今後も体験を取り入れていただくと良いと思った。また、相生地域の荷車楽市楽座については、加子母村視察の成果ということである。先進地視察をされることは多いかと思うが、視察結果を生かしていくことはすばらしいことであると思う。

(閉会 21:23)